

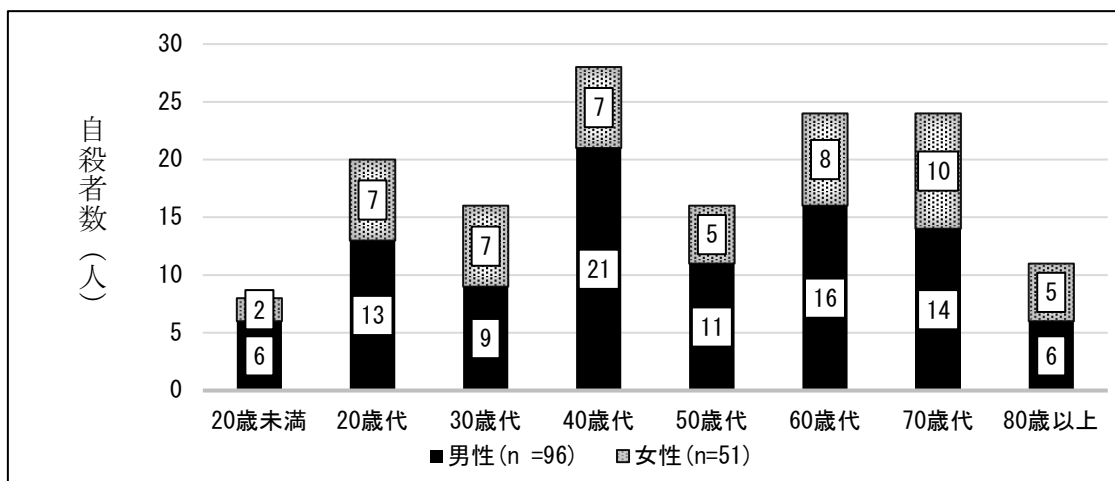
「入間市自殺対策計画」に対するご意見と対応

ページ	項目名	ご意見	対応
9	図 4	見にくい	見やすく作成し直しました。
10	(5)「学生・生徒」	「生徒・学生」では。	国の表記に合わせて、「学生・生徒」のままとします。
12	(8) 自殺者の特徴	最初の2行の活字ポイントはこれでいいか。	このままとします。
12	図 8 等	殆ど読めない。	見やすく作成し直しました。
14	図 10 自殺の危機経路	図の説明は分かるが、入間市の自殺の現状とどのように結びつけようとしているか。	自殺は1つの要因だけでなく、複数の要因によるものであることを示すために掲載しています。
21	3 自殺対策における現状と課題	羅列されている現状と課題は、入間市に関することの記載なく、読み手にどう理解してほしいのか。	第3章の入間市の現状から要点を【現状】としてまとめ、そこから見えてくるものを【課題】としました。また、課題から第4章の数値目標を設定し、対応として第5章の基本施策や重点施策を掲載しています。
34	基本施策 5	命の教育で、感情が芽生えるのは小学生前からだと思うので、就学前から自然に親しみ、命の大切さがわかるような場所や機会を設けたらと思う。	ご指摘のとおり、大変重要なことと考えております。今後の参考にさせていただきます。

(3) 性別・年代別自殺者数と自殺率

性別・年代別自殺者数は、男性では40歳代の21人が最も多く、次に60歳代の16人と続きます。女性では、70歳代の10人が最も多く、次に60歳代の8人となります。(図3)

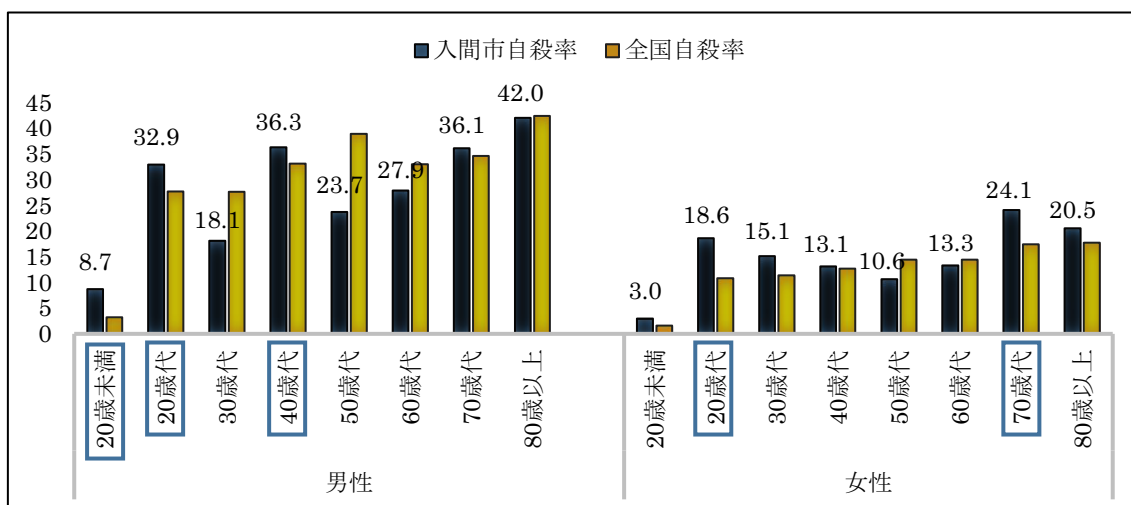
図3 性別・年代別自殺者数：入間市（平成24年～28年合計）



※出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」より入間市作成

性別年代別の自殺率を全国と比べると、男性では20歳未満と20歳代と40歳代の自殺率が特に高く、女性では20歳代と70歳代の自殺率が特に高くなっています。(図4)

図4 性別・年代別自殺率（10万対）：全国との比較（平成24年～28年合計）



※出典：自殺総合対策推進センター「地域自殺対策実態プロファイル（2017）」

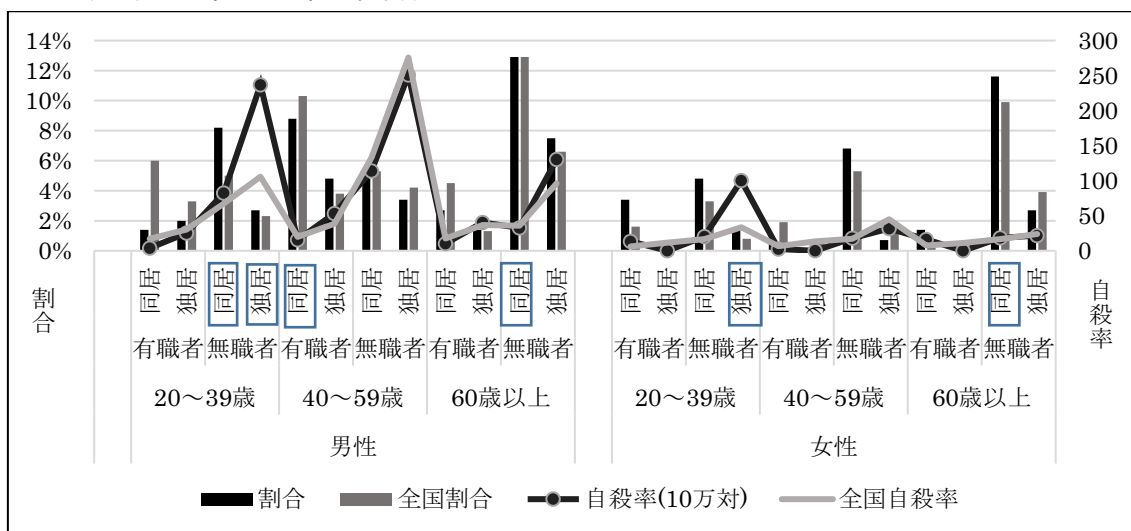
(8) 自殺者の特徴

入間市の自殺者の5年間の合計について、性・年代・職業・同居人の有無（同居、独居）による自殺者の割合と自殺率を全国と比べたものが図8です。

自殺者の割合が最も多い区分は「男性・60歳以上・無職者・同居」、次いで「女性・60歳以上・無職者・同居」、「男性・40～59歳・有職者・同居」と続きます。

全国と比べると、自殺者の割合では「男性・20～39歳・無職者・同居」が高くなっています。また、自殺率では、男性、女性ともに「20～39歳・無職者・独居」が全国と比べ高くなっています。（図8）

図8 性別・年代・職業・同居人の状況別自殺者の割合と自殺率：全国との比較
（平成24年～28年の合計）



※出典：自殺総合対策推進センター「地域自殺対策実態プロファイル（2017）」

自殺総合対策推進センターによる地域自殺対策実態プロファイルでは、入間市の自殺の特徴について、性・年代等の特性と、背景にある主な自殺の危機経路を明らかにしています。なお、順位は自殺者数の多い順となります。（表4）

表4 入間市の主な自殺の特徴と危機経路（平成24年～28年の合計）

上位3区分	自殺者数	割合	自殺率 (10万対)	背景にある主な自殺の危機経路
1位: 男性 60歳以上無職同居	19	12.9%	32.6	失業（退職）→生活苦+介護の悩み（疲れ）+身体疾患→自殺
2位: 女性 60歳以上無職同居	17	11.6%	18.5	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
3位: 男性 40～59歳有職同居	13	8.8%	15.8	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺

※出典：自殺総合対策推進センター「地域自殺対策実態プロファイル（2017）」